

「木質バイオマスを地域づくりに活かすために」

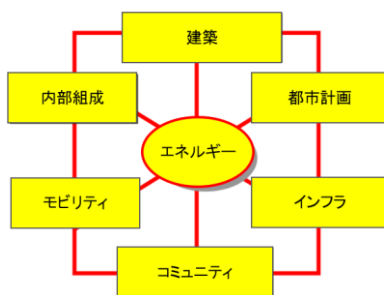
ビジョンの構築・共有・実現

- 地域のプレーヤーが活躍し、メリットを得られるか
- 地域の資源が有効かつ持続可能な形で活用されるか
- エネルギー利用サイドで地域産業にメリットが生まれるか
- 周辺産業や地域環境に波及効果・好循環が生まれるか
- 地域の将来を見据えたビジョンであるか
- 関係者が共通認識をもつことができているか
- 実現のためのアクションプランを描き、実行できるか



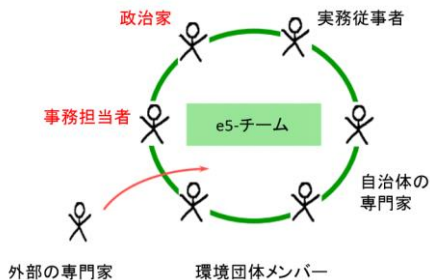
ビジョンの共有・実践のためのコーディネート

エネルギー自治のサポートプログラムの例: 欧州「e5 programme」



- ・6分野84施策による地域評価
- ・目標設定、戦略策定、計画進捗管理に利用
- ・外部審査・ランク付けにも利用

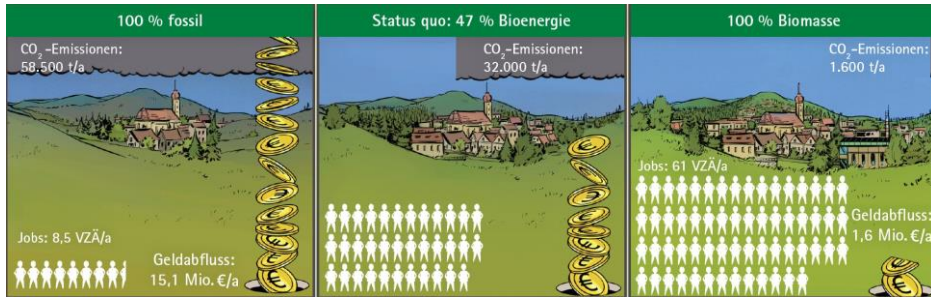
プログラムを活用し、国や州の専門機関等がコーディネーターを派遣し、地域のエネルギー政策の策定から実行までのマネジメント支援と実行チェックを行う



出典: Salzburg Institute for regional planning and housing 資料より作成

ビジョン実現の合意形成には説得力あるデータが必要

Hartbergにおける熱供給による地域効果



出典: オーストリアバイオマス協会パンフレット

説得力あるデータをもって、地域の関係者の合意形成や政府へ提言を行う